

シャンプー泡特性を考慮した感覚創生に関する研究

研究背景

現状と問題点

シャンプー洗浄時の体感音(以下, シャンプー音)は, 使用感を向上させることにより, 付加価値の増大が期待されている. しかしながら, 次のような問題点がある.

- ①シャンプー音は気導音のみではなく, 骨導音も含んだ音となっているが, シャンプー音の再現方法は確立されていない.
- ②シャンプー音を作成するための制御因子が把握されていない.

研究目的

本研究の目的

異なる実験条件
測定, 評価

実験計画法より検証実験
洗浄時の制御因子の把握

骨導・気導
感覚特徴を把握

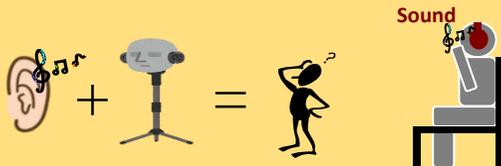


主観評価
制御因子と音質の関係の把握

研究内容

シャンプー音の再現

シャンプー音は骨導音+気導音からなる.
しかし, 測定した音源は気導音のみ.
音の印象に与える体感特徴を把握が必要.



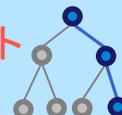
例:
オクターブバンドにより相応しい体感フィルタ作り

『骨導・気導感覚を考慮したシャンプー音を再現』

制御因子把握

ランダムフォレスト

特徴量抽出



カンファレンス行列

検証実験

重回帰分析



検証
Good!! Bad↓
制御因子
(泡特性, 実験条件など)

感覚マップの構築

評価語選定

感情表現など含む
評価語

シャンプー音の印象把握

主観評価

評価得点の設定

感覚マップの構築